

幸風苑

地域包括支援センター便り



幸風苑地域包括支援センター
〒212-0021 川崎市幸区都町64-1
☎044-556-4355

NEWS LETTER

幸風苑の「こうちゃん」



地域包括支援センターです

こんにちは。幸風苑

地域包括支援センターは、川崎市から委託を受けた高齢者に関する身近な公的な相談窓口です。地域のみなさんが安心して生活が送れるように、ご相談を伺いご支援させていただきます。相談無料、秘密厳守です。お気軽にご連絡下さい。

ゴールデンウィーク豆知識 (5月のゴールデンウィークの歴史について)

4月末から5月にかけてのゴールデンウィーク♪ 5月の祝日についての豆知識です!

5月3日「憲法記念日」

戦後を迎え、戦前の大日本帝国憲法から新憲法である日本国憲法が、昭和21年(1946年)11月3日に公布され、昭和22年(1947年)5月3日に施行されたことを記念して、翌年の昭和23年(1948年)から、この日が祝日法によって祝日に制定されました。

5月1日がメーデーで、5月5日が端午の節句ということで、間の5月3日に決まったとのこと。

5月4日「みどりの日」

「みどりの日」は、昭和64年(1989年)の昭和天皇崩御を受けて、それまで昭和天皇の誕生日であった4月29日に、この年より制定された祝日です。

この年より天皇誕生日は平成天皇の誕生日である12月23日となりました。ゴールデンウィークの一角を構成する4月29日の祝日を変更すると国民生活への影響が懸念されるため4月29日は昭和天皇が自然をこよなく愛したことから「緑」にちなむ「みどりの日」として改めて祝日になりました。

その後、平成19年(2007年)に祝日法改正により、4月29日は「みどりの日」から「昭和の日」となり、5月4日が「国民の祝日」から「みどりの日」となりました。

ちなみに「みどりの日」には国立公園の無料開放など、国民が自然に親しむための各種行事等が各地で実施されています。また毎日新聞の題字が当日のみ青から緑色になるそうです。

5月5日「こどもの日」

「こどもの日」は、昭和23年(1948年)に、国民の祝日の一つとして5月5日に制定され『子供の人格を重んじ、子供の幸福をはかるとともに、母に感謝する日』と定められました。

「こどもの日」は、母に感謝する日でもあることを忘れずに。

幸風苑地域包括支援センター

先月の新規相談

先々の不安…6件	リハビリ……1件
物忘れ………1件	住まい………1件
介護負担……3件	その他………9件
退院………4件	

1970年以来2度目となる「大阪万博」が2025年4月13日～10月13日に開催されます。一人ひとりが互いの多様性を認め「いのち輝く未来社会のデザイン」実現をテーマにしています。多様性を認めることは、異なる文化、信仰、人種、性別的指向、年齢、身体的能力、経済的背景など人々が持つさまざまな側面を認識し尊重することです。幸風苑地域包括支援センターでは、一人ひとりが抱えているちょっとした心配事から病気、介護、金銭の問題や虐待など多岐にわたる相談をお受けしています。お気軽にご連絡下さい。

できていますか？災害への備え

地震はいつ起きるかわからない？ けど、必ず起きます。
この30年以内に「首都直下型地震」は70%の確率で
「南海トラフ地震」は80%の確率で発生するとされています。
台風など他の災害にも備え、今、出来る事を行って自分や周りの
人を守っていきましょう。



準備しておく防災グッズリスト

(準備しておく防災グッズのリスト)

災害はいつどこで起こるか分かりません。

外出時は一晩を過ごせる程度の**防災グッズをポーチ等にまとめて持ち歩きましょう。**

(いつも持ち歩いた方がよいもの)

- 飲食物...水、携帯食
- 装備品...ホイッスル、ライトなど
- 情報関連...モバイルバッテリー、現金など
- 救急・衛生用品...持病薬、携帯トイレ、マスクなど
- 防寒用品...使い捨てカイロ、アルミ製保温シート
- 汎用品...手ぬぐい、ポリ袋など



避難等に備え、防災ポーチの他に**非常持ち出し品**を用意し、リュックなどに入れて
寝室や玄関などに置きましょう。

(リュックなどに入れて緊急時に持ち出しするもの)

- 飲食物...水、携帯食
- 装備品...ヘルメット、軍手、運動靴など
- 情報関連...家族の写真、筆記用具、現金など
- 救急・衛生用品...持病薬、救急箱、携帯セット、歯磨きセット
ウェットティッシュ、生理用品、紙おむつなど
- 汎用品...タオル、布製ガムテープ、ラップなど
- その他...衣類・下着、通帳・保険証券等のコピーなど



(補足) 上記は目安です。各家庭に合った量や備品を準備しましょう。
このほか自宅で避難生活を送る場合に備え、一人当たり最低3日分
できれば1週間分の備蓄をしましょう。

(独立行政法人国民生活センター(見守り新鮮情報より))

2025/05/01

(参考) 認知症高齢者の方に対する避難所の環境作りはどうしたら良いのかかわり方
は？二次避難所移動する時は？などの事例が書かれているパンフレットがあります。

「避難所での認知症の人と家族支援ガイド(社福 東北福祉会監修)」
※右のQRコードでご覧になれますので、ご参照下さい⇒

